

日時

8月1日(金) 16:00-18:30

定員

先着500名(事前申込み制)

会場

オンライン配信

オンライン会議アプリ『Zoom』を使用

事前に申し込みフォームへアクセスし、参加登録をお願いします。
ご登録後、ウェビナー参加に関する確認メールが届きます。

参加費
無料

登録締め切り

7月31日(木)まで
〈申し込みフォームはこちらから〉https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_1a3Y0UAVQ_SQJrsGRMtIA

申し込みフォーム

プログラム

総司会 [東北大学東北メディカル・メガバンク機構]
教授 長神 風二

16:00～ はじめに

講演

16:10～ バイオバンクの国際対応について

1.我が国のバイオバンクの国際対応の現状と今後の課題

[富山国際大学]
学長 高木 利久

2.各国における試料・情報提供の現況

[三井情報株式会社]
バイオヘルスケア技術部 チームリーダー 小摩木 里奈

3.利活用推進に向けた海外バイオバンクの戦略的取組み

[三井情報株式会社]
バイオヘルスケア技術部 部長 高橋 順子

16:55～ データを機関外にコピーせずに分析するための

Trusted Research Environment

[東京大学病院企画情報運営部]
特任講師 岡田 昌史

17:15～ 海外提供、利用の経験

[国立精神・神経医療研究センター メディカル・ゲノムセンター]
バイオリソース部 部長 服部 功太郎

17:30～ バイオバンクと国際的データ移転

[ひかり総合法律事務所]
弁護士 板倉 陽一郎

17:50～ 総合質疑・討論

18:15～ まとめと閉会

※イベント終了後、企画者を中心とした本日の振り返りと次回に向けた検討を公開で行います。
お時間許す方はご参加歓迎します。

第9回

バイオバンク オープンフォーラム

バイオバンクの
国際対応

バイオバンクの国際対応は喫緊且つ重要な課題です。海外バイオバンクが日本で利用されている現状における相互主義の課題もあり、また、日本人試料・情報が使われることは、それに適した医薬品の開発がされるか否かにも関わってくる問題です。そして、経済安全保障をめぐる論点が絡み、契約の困難さや事故時の対応など、多様な課題が山積しています。

繰り返し、いろいろな場で語られている問題を改めて整理し、議論を次のステップへと進めていくために、本フォーラムで議論します。国際対応を議論することは、世界の中における我が国のバイオバンク、そして私たち自身を再認識する機会となります。多くの方々から多面的な議論が行われることを期待します。



主催・お問合せ先



バイオバンク オープンフォーラム運営事務局

AMEDゲノム医療実現バイオバンク利活用プログラム(ゲノム医療実現推進プラットフォーム・ゲノム研究プラットフォーム利活用システム)

「ゲノム医療実現推進のためのバイオバンク・ネットワーク構築とバイオバンク利活用促進に関する研究開発」

[Mail]biobank-openforum@biobank-network.jp [Web]<https://www.biobank-network.jp> [X]@bbnetwork_jp

協賛



国立研究開発法人日本医療研究開発機構(AMED)